

さがみはら生物多様性 ネットワーク ニュース

発行 さがみはら生物多様性ネットワーク



さがみはら生物多様性ネットワーク 第2回会員交流会を 開催しました！

2017年11月7日(火)、相模原市産業会館において、昨年度に続き2回目となる会員交流会を開催しました。第1部は市立博物館学芸員・秋山さんによるミニ講演、第2部では会員同士の情報交換を行いました。ミニ講演の内容や情報交換の様子を紹介します。



第1部 ミニ講演

「トコロジストのススメ～ “地元”の専門家になろう～」

秋山幸也さん(相模原市立博物館学芸員)

生物多様性の基本は「地元」。改めて地元を見直すためのキーワードが「トコロジスト」です。

「トコロジスト」は、「特定の分野にとらわれない、その場所(トコロ)の専門家」を示す造語。「その場所のなら」、ほかの人を案内できる人、季節感を語れる人のことをいいます。そして、得意分野を持ち寄ってその地域のスペシャリスト集団を形成しているのが「トコロジスト集団」です。

トコロジストの基本スキルは、どこに何があるか頭の中に地図があること、その場所のいろんな顔を知っていること、そして、場所への“愛”があること。図鑑や教科書に載っていることより細かいことや異なる事実を知

ているのが一歩進んだトコロジストです。

トコロジストの道具として、地図はとても大切です。たとえば、花暦や生きものの確認記録を地図や地形図へ書き込めば、オリジナルの生きもの地図、生きもの暦ができあがります。

地域の言葉に着目することも大事です。相模原市でいえば、大島から田名にかけて存在する崖沿いの湧水地をさす「ヤツボ」や相模川の段丘崖のことをいう「ハケ」は地元の言葉。言葉を通して地域の歴史や人と自然のかかわりが見えてきます。

あの山の山頂に雲がかかったら天気が崩れるといったその場所の気候や天候の予測についての知識があることもトコロジストの要素です。

その場所を見つづけることがトコロジストにとって大切なこと。好奇心から記録を蓄積し、経験を重ね、発信するのがトコロジストなのです。

第2部 情報交換



小グループに分かれて情報交換を行いました。会員同士語り合えるまたとない機会。時間が足りなくなるほど盛り上がりました。



会員交流会にご出席いただいた皆さま。
ありがとうございました！

会員活動紹介

絶滅危惧種「カザグルマ」の保全・保護活動 相模原のカザグルマを守る会

～相模原のカザグルマを守る会の活動について、会長の西康夫さんに聞きました。～

カザグルマは、キンポウゲ科クレマチス属のつる性植物で、8枚の花弁の大きな白い花(※)が特徴的です。

神奈川県レッドデータブックでは絶滅危惧ⅠB類に指定されており、限られた場所にしか自生していません。宅地化や道路開発で自生地を失ったこと、園芸対象として心無い人による盗掘の被害にあってきたことなどから数を減らしてしまったのです。

こうした危機的な状況を打開しようと、2013年に設立されたのが自生地の保全と自生株の保護・繁殖



麻溝公園での植え込み作業

を行う「相模原のカザグルマを守る会」です。現在、25名ほどの会員が活動しています。

カザグルマが大輪の花を咲かせる春は、一年で最も忙しい季節です。自生地を回り、開花の状況や周囲の環境を確認します。

この間に枝を少しだけ採取し、挿し木苗の栽培を始めます。秋になったら、挿し木苗を鉢に植え替えます。活動の拠点である麻溝公園では、立派に成長したカザグルマを見ることができます。

増殖させたカザグルマは、挿し穂を採取した自生地へ戻します。遺伝的系統を守るため、もとの自生地へ戻すことが重要なのです。

カザグルマを絶滅の危機から守るためには、様々な方の協力が必要です。地元の方々、博物館、(公財)相模原市まち・みどり公社、県立中央農業高校草花部などと連携し、「カザグルマネットワーク」の拡大を目指して活動を続けています。

※花弁の枚数、色、がく片の形状は自生地によって異なります。



環境省が「事業者のための生物多様性 民間参画ガイドライン」を公表！

事業者の
みなさまへ
オススメ!!

「生物多様性」って最近よく耳にするけれど、一体何から始めればいいのかとお悩みの事業者の方はいませんか？

そんな方にオススメしたいのが、環境省が作成した「事業者のための生物多様性民間参画ガイドライン～生物多様性の取組に悩んでいる事業者のために～」。2009年に初めて公表されたガイドラインを実に8年ぶりに改訂し、2017年12月に公表されました。

その内容をおおまかに紹介すると、生物多様性と事業活動との関係、生物多様性へ配慮する取組を実施することによるメリットについて明記。さらに、日本標準産業分類の業種別に、原材料調達、生産・加工等の事業活動ごとの取組と生物多様性の関係を

解説しています。また、事業者の実際の取組事例を多数掲載するなど、これから生物多様性の保全に関する取組を始めようとする事業者に向けた内容となっています。

ぜひお手元に1冊ご用意ください！



※環境省HPより転載

※ガイドラインは環境省ホームページからダウンロードすることができます。

https://www.env.go.jp/nature/biodic/gl_participation/download.html

会員募集中!! 入会随時

詳しくは、「相模原市生物多様性ポータルサイト」または右記事務局までお問い合わせください。

相模原市 生物多様性 🔍 検索



発行者：さがみはら生物多様性ネットワーク事務局
(相模原市水みどり環境課内)

住所：相模原市中央区中央2-11-15

電話：042-769-8242

Eメール：midori@city.sagamihara.kanagawa.jp